

周遊マップ

JR小倉駅からJR西小倉駅までの一帯は、紫川の西側を西曲輪、東側を東曲輪と呼んでいます。西曲輪は常盤橋から始まる旧長崎街道と小倉城周辺、東曲輪は基盤目の町割りが見どころです。かつての小倉城下町を想像しながら歩いてみてください。

17 安国寺



足利尊氏が全国に建立した寺の一つ。境内には伊達宗興の墓や松尾芭蕉の句碑があります。第27代住職・玉水俊就は小倉に在住した森鷗外と親交を結び、『二人の友』『独身』にも「安国寺さん」「寧国寺さん」の名で登場します。

16 三の丸土塁



小倉城内三の丸と西曲輪（武士と町人が混在）を区切っている土塁で、現存しているのは当所だけ。三の丸の中のこのあたり（現在の思永中学校）には、小笠原藩家老で宮本武蔵の養子である宮本伊織の屋敷がありました。

15 八坂神社



元和3（1617）年、小倉城主の細川忠興が鋳物師町に祇園社を祀りました。明治時代に八坂神社と改名し、昭和8（1933）年に小倉城内の現在地に移設。忠興の眼病平癒祈願の石造燈籠や鳥居は県指定文化財です。

14 小倉城



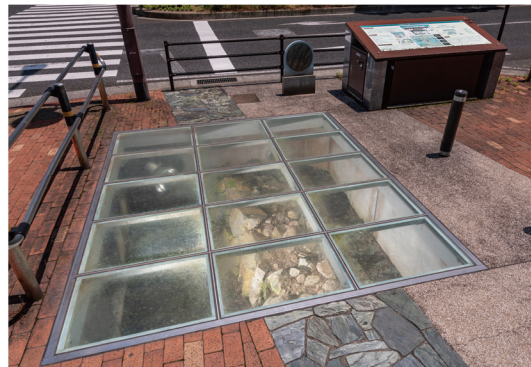
唐造りの名城として名高い小倉城は、慶長7（1602）年に細川忠興が築城。昭和34年に再建された天守閣はいまや小倉のシンボルです。切石を使わない「野面積み」の石垣は忠興自慢の一つであったと言われています。

1 妙乗寺



応永32（1425）年、佐賀へ向かう日蓮宗の日親上人が、小倉の沖で難破しそうになり安全祈願をしたところ、明星が岸に輝き、導かれて海岸に辿り着くことができたと言われています。

2 大門跡



室町から長崎へと向かう最初の門で、今の西小倉駅前にありました。近年の発掘調査で門の礎石や護岸の石垣が出土したため、現在では歩道に透明板が張られ、地上から遺跡の一部を観察することができます。



13 しろテラス



小倉城関連だけでなく北九州土産も販売。観光案内所とカフェがあり、和の雰囲気を感じるラウンジからは築城当時の石垣を眺めることができます。営業時間は9時～18時まで、年中無休。

12 岩松翁顕彰櫓



幕末、長浜（小倉北区）の岩松助左衛門は、小倉沖で相次ぐ船の遭難に私財を投じて灯台建設を目指しました。事業はのちに明治政府が引き継ぎ、明治6（1873）年に完成。顕彰櫓は翁の偉業を伝えるものです。